PDF-XCHANGE Click to buy NOW! www.docu-track.com

REAL VR ON Vol.03

「化学物質過敏症」

理美容業界にも大きく関わってくる「化学物質過敏症」

訴訟社会の始まりか!? もはや対岸の火事ではない!!

毎日新聞より。

2006年（平成18年） 12月26日 火曜日

化学物質過敏症の元看護師

後遺症を初認定

大阪地裁 賠償命令 「病院、対策怠る」

医療現場で過敏症発症責任認め 元看護師への賠償命令

大阪被済会（えきさいかい）病院（大阪市西区）に勤務していた元看護師の岡沢丸美さん（51）が、消毒液が原因で化学物質過敏症になったとして、病院を経営する社団法人「日本海員被済会」（東京）を相手に約2500万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が25日、大阪地裁であった。大島眞一裁判長は、消毒液と発症の因果関係を認めたうえで、病院側が安全配慮を怠ったと判断、約1060万円の賠償を命じた。原告側代理人によると、医療現場で化学物質過敏症の発症責任が認められたのは初めてという。（略）

（読売新聞 2006年12月26日）

化学物質過敏症：さまざまな種類の微量化学物質に反応して苦しむ、化学物質過敏症（Chemical Sensitivity=CS）。
重症になると、仕事や家事ができない、学校へ行けない…など、通常の生活さえ営めなくなる、極めて深刻な“環境病”です。

原因となる化学物質：タバコ、農薬、殺虫剤、シロアリ駆除剤、洗濯の柔軟剤、新築のニオイ、車のニオイ、靴屋さんのニオイ、薬局のニオイ、野焼きの煙、ペンキ、ガソリン、蚊取り線香、服の防虫剤、新聞紙のインク、合成洗剤、カビ、油性マジックペン、排気ガス、日焼け止め、化粧品、消臭剤、アロマオイルなど。

理美容業界にも大きく関わる「化学物質過敏症」

私たちが日常で、何気なく多用する製品によって被害を被り、損害賠償を求めて訴訟を起こすケースが、最近多くなってきたように感じます。

その背後にあるもの、それが有害な化学物質です。我々がよかれと思って製造し、便利だと思って消費してきたさまざまな製品が、実は危険なものだった、ということが次々と明らかになっています。

化学物質の有害性が明らかになるにつれ、化学物質によって被害を被った患者が、製造メーカーや化学物質を使用する現場に対し、損害賠償を求める動きも増えてきています。

看護師という立場上、自らが職場環境を選択できないなかで起きた事実。原告のナマの声を聞くと、その現実は辛く苦しく、人生そのものに大きく負担がのしかかってくる問題であることがわかります（上新聞参照）。

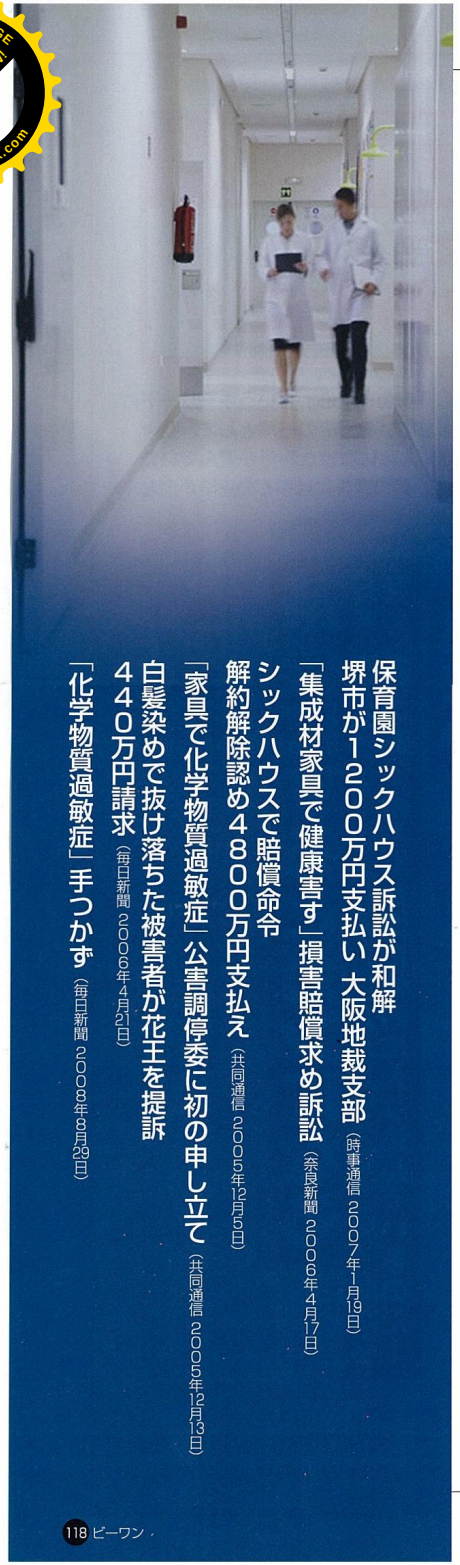
化学薬剤や医薬品による健康被害は、現場だけではなく、それらを認可する立場にある、国の責任も見逃せません。いずれも、やるべきことを怠った責任が問われています。

訴訟社会間近といわれるなか、いかなる業界もこれらの問題は、もはや対岸の火事では済まされなくなることが見えてきます。

そんななか、化学物質過敏症と診断された女性が障害年金の受給を認められたことが報じられました。仕事で薬剤を扱う方の発症が目立ってきているといいますし、他人事ではありません。

また「化学物質過敏症の認知度を少しでも上げたい」という思いで企画・実行されたデモ行進の様子も、メディアで大きく取り上げられました。

PDF-XCHANGE Click to buy NOW! www.docu-track.com



〈化学物質過敏症〉31歳女性に年金支給 障害2級と認定

微量の化学物質に反応して体調を崩す「化学物質過敏症」と診断された川崎市の女性（31）が先月、障害年金の受給を認められた。病気の社会的な認知度が低いうえ申請手続きが煩雑なこともあり、支援団体によると受給が明らかになったのは初めて。「多くの人に希望を与える画期的な決定だ」と高く評価している。（略）

発病以来の闘病記や、衣食住に支障を来している実例の資料を添えて川崎市を通じ、高津社会保険事務所に申請したところ、今年11月、片手や片足を失った人と同等の「障害等級2級」と認定され、月額約6万6000円の障害基礎年金を受給できることになった。母親は「同じ症状で苦しむ多くの患者さんに新たな道が開ければ」と話している。（略）

（毎日新聞 2008年12月5日）

化学物質過敏症患者 デモ行進

身の回りのわずかな化学物質の影響で体調を崩す「化学物質過敏症」を広く知ってもらおうと、患者たちがふだんはあまり出歩かない東京の繁華街でデモ行進をしました。患者グループが初めて行った行進には100人余りが参加し、東京・渋谷の交通量の多い一帯をゆっくり歩きました。化学物質過敏症は、わずかな量でも周りの化学物質が原因で頭痛やけん怠感といった症状が現れる病気です。全国で100万人といわれる患者の中には、車の排気ガスなどで症状が悪化するため、繁華街への外出を控える人も多いということです。（略）

（NHKニュース 2008年11月22日）

画像：NHKニュースより。

保育園シックハウス訴訟が和解
堺市が1200万円支払い 大阪地裁支部（時事通信 2007年1月19日）

「集成材家具で健康害す」損害賠償求め訴訟（奈良新聞 2006年4月17日）

シックハウスで賠償命令
解約解除認め4800万円支払え（共同通信 2005年12月5日）

「家具で化学物質過敏症」公害調停委に初の申し立て（共同通信 2005年12月13日）

白髪染めで抜け落ちた被害者が花王を提訴
440万円請求（毎日新聞 2006年4月21日）

「化学物質過敏症」手つかず（毎日新聞 2008年8月29日）